



## 「編み物教室から光を結ぶ造形会社へ」

母、本田寿子が46年前に始めた編み物教室。そこで結びの手芸、マクラメに出会い、その素材さがしの過程で、光ファイバーに出会い、時を経て光ファイバー造形会社となりました。現在、株式会社フィルノットは、母本田寿子、兄小崎幹太、私稲森麻子親子3人6脚で経営しています。

主な事業は、エンターテイメント施設の光るコスチューム、フロート（山車）のデコレーション、有名芸能人の光るステージ衣装、インテリアの光る装飾の制作、販売です。ここ2年は、香港、L.Aにも納めることができました。

光ファイバー造形会社になるきっかけは、マクラメの素材探しの過程で、それと出会ったことです。光ファイバーの知識を全く持たない、母は光ファイバーを見た途端、それを紐に見立ててマクラメの技法で結んでしまいました。曲げるといふ行為がご法度の光ファイバーを。そして、その結び目だけが光ることに気が付いたのです。すぐさま当時の実用新案を申請し、光ファイバー造形に没頭しました。試行錯誤の末、均一に光らせるノウハウを構築し、展示会開催などの活動をしていたところ、ある有名エンターテイメント会社の担当者の目にとまり、営業活動経験ゼロの中いきなり150着もの注文を受けました。無謀ともいえるそのオファーを当時、私と母とバイトのおばちゃん3人だったにもかかわらずお受けし、10か月後に完納。

名実ともに光ファイバー造形会社となったわけです。

そんな瓢箪から駒の様な経緯で、造形会社になり、その後経営のイロハもわからずに、取引が細々ではありながら途絶えることがないため会社を続けることができました。

3年前、母から兄への代表交代を機に、この母から生み出されたオンリーワンの技術を、もっと活用し広めて、健全な経営体質にすべく中小機構にお世話になりました。気持ち新入社員で営業活動を行い、強み、ターゲットの再確認することで、ようやく本来の道筋が見えきました。ニッチな分野である光るコスチュームを事業の柱に据えることで、メッセージが明確に伝わり、他案件も舞い込むようになりました。



(光るコスチューム)

今後は、この母から生み出された技術を、世界に、後世に繋いで光らせていくべく粛々と作戦練っています。その作戦が実行されるのも、もうすぐのはず。みなさま、これからのフィルノットにこうご期待です。

株式会社フィルノット  
専務取締役 稲森 麻子

### ネパールに日本の女性起業家がいるって知っていますか？

今年7月、ネパールを一週間訪問した時に、思いがけずネパールで日本人の女性起業家の方々に会い大変刺激を受けました。

ネパールは自然が豊かでおだやかな国民性を持ち、日本の方々にとって住み心地のいい国です。

そのような地で、女性達は起業したいと思って日本からネパールに来たわけではなく「ネパールに住みたい！」という思いを持って日本から飛び出してきた方々が長期間住みつき起業しています。

ネパールで出会った日本の方々とお話しているうちに気付いたことがあります。

日本から来た女性達（もちろん男性も）はネパールに滞在しているうちに、外国人が現地で学生ビザ以外の方法で長期間滞在可能なビザを得ることが難しいため、現地で起業するという選択肢をとっていることがわかりました。

私が実際お会いした方としては、

- ・ネパールに来てから金属宝飾加工を学び、ジュエリーショップをオープンした女性
- ・ネパールで登山服を縫製する工場を営んでいる女性
- ・3.11震災後に福島からネパールへ移住し、ネパール人の夫と居酒屋をオープンした女性

ネパールが日本の方々にとって比較的起業しやすい理由を考えてみました。

1. ネパール（特にカトマンズ）は、外国人が多く訪れる観光の街でありいろいろな人々を受け入れる雰囲気がある。
2. ネパールの人々は親日的であり、日本人や日本製品・サービスに対する安心感がある。
3. ネパール在住の日本人のコミュニティがあることが起業支援

につながっているのではないかと。

今年4月にネパールで大震災が起こり、今回は震災支援物資を届けるための旅でしたがネパールで思いもよらない女性起業家の方々との出会いがありました。

また、その起業家の方々が日本から来たボランティアの方々とつながって現地の避難者（山間地の被災者）を支援している様子を目の当たりにしました。

そして、彼女達から

- ・日本から一歩出て起業することがあたりまえという環境に身を置くこと
  - ・他の人とつながりを基に起業するということ
- という起業家精神を身近に学ぶことができたネパール訪問でした。

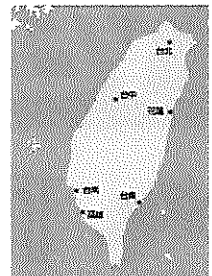
彼女達のように、国境を越えた意識やつながりを持つ起業家が日本で起業する女性達にもさらなるモチベーションを与えてくれるに違いありません。

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社  
インベストメント・オフィサー 堺事務所長  
阪口史保



(地震で崩壊したカトマンズ市内の住宅)

**台東（台湾）の経済・文化視察報告（2015.10 陶芸と教育の旅）**



2015年10月12日～10月15日（3泊4日）、3回目の「台東（台湾）の経済・文化視察団」を新たなメンバー5名にて結成、宿泊場所は熱気球と茶料理と温泉で名高い鹿野「鹿鳴温泉酒店」に2泊（3回目の宿泊）、台東市内の「旗魚金典商務大飯店」に初めて1泊。

今回訪台（台東）の主目的は

- ① 会長・董事長・副総理・営業部長と親交のある今回も宿泊した鹿野「鹿鳴温泉酒店」のVIP顧客を対象に、メンバーの一人で日本の「わびさび」を伝える陶芸作家及び作品を紹介するご提案。
  - ② 台湾台東大学と、同行した教授の日本の大学との協定のご提案
- であったが、①②共に、前向きに検討する旨のお話をいただき、日台友好の一助にもなり、大変有意義な充実した視察となりました。

台東県鹿野は視察団としては3回目となりますが、台湾の東南側に面し、海あり、山ありの大変静かなのんびりした気候温暖な地域です。一方、台東市は静かな都会との感があります。

上記「鹿鳴温泉酒店」は隣接地にVIP対象の新たなホテル建設に着手しており、特に日本企業、日本人顧客を希望しており、時々、台湾観光局等と来日し、誘致PRを行っております。当ホテルのオーナーは無農薬のお茶を研究開発し、又、温泉を発掘し財を成した実業家で、地元の実力者でもあり、ホテルの従業員の半数以上は原住民を雇用し、地域創生に貢献されております。

又、当ホテルの顧問的な立場の82歳になる元学校長は日本語で育ち、英国・米国等にも留学され、今も教え子が至る所で活躍され、人柄・人脈には感心いたします。今回の台東大学との協定提案にも同行いただき、力強く信頼度抜群のお方で、当視察団の影の功労者です。今も現役で外国語を指導・教育されています。

台湾で日本式とは、人が「律儀である」「約束を守る」「騙さない」「信用できる」「マナーが正しい」という意味に使われており、子供のころに父母・祖父母から「日本人を見習うべき」と聞かされ育った人が多いという。又、東日本大震災に際しても、国民に募って200億円以上の義捐金を被災地へ贈ってくれている愛日家である。

台東県には神社・学校・宿舎・役場・道路等日本が残した建造物等は今も維持管理されており、道を聞いた時、話をしている時、昔の日本の良さを改めて実感し、最近の日本の現状と比較し、反対に教えられ反省させられたのも大きな収穫の旅でした。

一社）ベストビジネスセンター 代表理事 山下 太一郎



**～ご活躍中の監査法人和宏事務所に業務内容やIPO等についてお伺いしました。ベンチャーの為に今後ご尽力されることを期待申し上げます～**

- Q. 貴事務所の設立はいつ頃ですか。
  - A. 東京事務所は設立後約50年、大阪事務所は設立後20年くらいで結構業歴は有しています。
  - Q. 貴事務所の特色や業界での位置などお教え下さい。
  - A. 中堅監査法人として社員（公認会計士）はベテランばかりでありますのでクライアントには中堅中小の事務所としてきめ細かい対応や経験を生かした対応を行なっています。
  - Q. 監査契約先や担当地域をお教え下さい。
  - A. 大手監査法人に比しクライアント数は多くはありませんが、IPOを目指される企業を中心にテリトリーの制限はありません。
  - Q. 今後の展開やIPOに関してコメントをお願いします。
  - A. IPOは決して容易なものではありませんが、その企業独自の良さをアピールできる絶好のチャンスでもあります。
- 関西を中心に皆様の為に尽力して参りますので、どんな事でもお気軽にご相談下さい。
- ・大阪事務所 住所 大阪市中央区島町2-2-19 長光寺ビル5階  
TEL: 06-6966-2901 FAX: 06-6966-2922 E-mail:wako-osaka@jhty.ftbb.net
  - ・顧問 池田 健治 携帯090-1586-2077



**～VECコーナー～**

- 今年のベンチャー白書発刊や最近の内外情報を一部抜粋してお知らせします。詳しくはVECホームページを是非ご覧下さいませ。
- ・ベンチャー白書2015年度版を発刊します。  
12月3日（木）に発刊を予定しております。是非ご購入頂き、ベンチャー関連図書としてご利用をお勧め申し上げます。
- ・最近のニュースリリース  
2015.10.1 VECベンチャーニュース（平成27年 第14号）— 宇宙への挑戦 —  
2015.10.1 VECベンチャーニュース（平成27年 第13号）— ドイツの復権（続編） —  
2015.9.15 VECベンチャーニュース（平成27年 第12号）— イノベーション起爆剤としてのSBIR ～米国の国家的シードファンド～
- ・最近のシリコンバレー通信  
2015.9.15 Vol.12 「イノベーション起爆剤としてのSBIR」～米国の国家的シードファンド～  
2015.6.22 Vol.11 「コンシューマープロダクト・スタートアップの勃興」～3Dプリンターとクラウドファンディングが成長を加速させる。VEC関西支部 事務局



**～VEC関西より～**

- ・いよいよ、これから京都のベストシーズンです。いま世界中からお客様が京都を目指してきています。ホテルも旅館も満員で予約が取れなくて大変らしいです。桜のシーズンとは違ったうら寂しさも含めた美しさ、特に燃え上がるようなモミジの紅葉は人間に例えれば中年の苦みのかかった円熟した美しさです。日本へ京都へどうぞお越し下さい。（本田）
- ・秋になると学祭が盛んに行われています。私の住む町でも某有名大学が何校もあり、有名人やお笑いの人達が来て盛大にやっていました。こんな時くらいしか大学のキャンパスに入ることがないので友人と行き、若者パワーを貰ってきました！「葡萄祭」と言えばお判りの方もいらっしゃると思います。（藤本）
- ・私が世話人となっております「プレミアムクラブ」を開催させて頂き講師にギャラリーミュージズ 鈴木雅子様に「知っておきたい絵の知識」をテーマとしてお話しを頂戴しました。プレミアムクラブとは女性の起業や事業のサポートを中心に有志が2ヵ月に1回程度開催しています。今回は鈴木様ご持

参の絵画も何点か飾って頂き芸術の秋にふさわしく絵画から感じる感性と色彩の美しさにうっとり…。場所も船場ビルディングであり大正時代の歴史と現代のマッチングさがより以上の相乗効果で美にふれた時間でした。ご関心のある方は是非ご参加お待ちしております。（濱本）

・11月号もご活躍中の女性から、それぞれ熱いメッセージを頂きました。山下氏の台東(台湾)報告での鹿鳴温泉酒店(ホテル)・藩董事長(社長)も女性で、どの分野でも素晴らしい経営者、管理者として活躍されており、ますますのご発展を祈っています。（澤村）

<交流会の予定>  
平成27年11月10日(火) 大阪成蹊大学 マネジメント学部  
教授 工藤 英男 様

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部  
〒541-0053 大阪市中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階  
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293

